

日時：令和8年5月29日（金）19:30～20:03

場所：中川原小学校2階なかつこルーム

参集範囲：中川原小学校学校運営協議会委員、学校関係者、教育委員会

【委員からの主な意見】

●保育所と小学校の児童数の乖離

- ・保育所には多くの児童がいるのに、小学校児童は少ない。地域に魅力があるから保育所に来ているのであれば、小学校の児童数を増やす方向を考えるべきではないか。

●学校統合による地域コミュニティの喪失

- ・学校がなくなると、地域の接点がなくなる。集まる機会が失われることで、地域がさらに離れていく。
- ・学校を減らすのではなく、学校の数を残して、それに見合う児童生徒数を集める方法を考えるべきである。学校を減らすことで、ますます人口が減っていく。

●地方活性化と人口増加の可能性

- ・リモートワークやAIなど、地方でビジネスチャンスをつかむ時代である。嫁や婿が来てくれれば、さらに活性化する可能性がある。

●統合による予算削減と子どもへの投資

- ・再編することで浮いてくる予算を、子どもたちに投資できる。

●会計年度職員の雇用問題

- ・統合時に、雇用契約が更新されない会計年度職員が発生するのではないか。早めに計画を検討してほしい。

●中川原中学校統合後の地域への影響

- ・中川原中学校は既に洲浜中学校に統合されている。統合後の地域の状況も調べてほしい。